

平成31年度 福井市灯明寺中学校 スクールプラン

【福井市学校教育目標】

「郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成」

【福井市学校教育方針】

「地域に根ざす『学びの一貫性』」

【灯明寺中学校区教育】

- ・魅力ある学校づくりを通じた「灯中校区スタンダード」の推進
- ・小中9年間を見据えた児童生徒理解の推進
- ・中学校区合同挨拶運動の計画的実施
- ・小中の円滑な接続と中学校区教員による相互交流

【学校教育目標】

「自主的で活力に満ち、心豊かで誠実な生徒の育成」

【校訓】

研学
振気
愛敬

【目指す生徒像】

- ・互いに研き合い、自ら学ぶ意欲のある生徒
- ・互いに励まし合い、覇気あふれる生徒
- ・互いに認め合い、信頼され、尊敬される生徒

【研究主題】

豊かな関わり合いの中で、主体的に学びを深める生徒の育成

【目指す学校像】

「生徒の笑顔があふれる学校」

【目指す教師像】

- ・教育に対する熱意と使命感をもつ教師
- ・豊かな人間性と人権感覚をもつ教師
- ・生徒のよさや可能性を引き出し、伸ばすことができる教師
- ・組織人としての責任感・協調性を有し、互いに高め合う教師

重点目標

生徒が主体的に取り組む授業づくり

- 生徒が意欲的に学ぶ授業づくり
- 思考力・判断力・表現力等の向上
- 学力向上に向けた基礎基本の習得
- 学習習慣の定着と学習規律の徹底

認め合い、高め合う集団づくり

- 自己有用感を育む学年・学級づくり
- いじめ・不登校の未然防止
- 生徒の手による諸活動の活性化
- 自己実現を図るキャリア教育の推進

豊かな心と健やかな体づくり

- 道徳的実践力と人権感覚の涵養
- 基本的な生活習慣の定着
- 自己健康管理能力と体力の向上

家庭・地域から信頼される学校づくり

- 地域理解と愛着を高める体験活動
- 教育活動の公開と情報発信
- 家庭と連携した情報モラル教育

具体的な取組

- 授業における学習課題提示の工夫、学びの振り返りを設定。
- 積極的な授業公開と、教科の枠を超えて相互の授業を参観。
- 学力調査等の結果を活かした授業改善。
- 朝学習、ドリルコンテスト等の実施による基礎基本の習得と定着。
- 自主学习ノートを活用した家庭学習の習慣化と内容の充実。
- 灯中版「学習の心構え」の徹底により、落ち着いた学習できる集団の形成。
- 朝読書や図書室活用など読書活動の推進。

- 教師主導で行う「居場所づくり」と生徒が主体となる「絆づくり」の推進。
- ピアサポート、ソーシャルスキルトレーニングを通じた集団づくりの実践。
- 集団への所属感や達成感の獲得に向け、成功・感動体験を味わえる活動を設定。
- リーダーやフォロワー等の役割、目的を意識した縦割り活動や学年・学級活動。
- 自治活動や話し合い活動の場面を多用し、生徒自らの運営により問題解決を図る。
- 夢や目標に向かって、自分の生き方を考える進路学習の充実。

- 思いやりや感謝を柱として、日常生活や学校行事等と関連させた学年道徳を実践。
- 生徒主体の人権集会やいじめアンケートを計画的に実施。
- 挨拶や返事の励行、時間の厳守、黙勤及び気づきの心を育てる清掃活動を徹底。
- 生徒がつながりの中で安心して相談できる教育相談体制づくり。
- 健康課題を改善できる判断力・実践力の向上に向けた保健指導の実施。
- 運動する楽しさを実感できる体育の授業や学校行事の実施。
- 交通安全や防犯・防災意識等の危機管理意識の定着。

- 絆プロジェクトを通じた地域貢献。
- ボランティア等、公民館等地域団体主催行事への積極的参加。
- 地域の人・もの・施設・自然情報を活用した学習支援の促進。
- 授業や学校行事、生徒集会等の積極的な公開と教育ウィークの工夫。
- 灯中だよりや学年通信、ホームページ等による教育活動の定期的な情報発信。
- 「灯中スマートルール」をふまえた適正なネット利用を生徒・保護者に啓発。
- 電話や来校者に対する丁寧かつ誠実な対応。

数値目標

- ・学ぶ意欲を高める授業を工夫する 教 95%
- ・授業がよく分かる 生 90%
- ・家庭学習を丁寧にできた 生 90%
- ・学習の心構えを守って学習した 生 95%

- ・みんなで活動するのは楽しい 生 90%
- ・生徒のよさや可能性を引き出す 教 90%
- ・縦割り活動や話し合い活動の実践 教 85%
- ・将来の夢や目標をもつ 生 80%

- ・学校へ通うのが楽しい 生 90%
- ・いじめ解消率 教 100%
- ・挨拶や黙勤・気づきの清掃 生 90%
- ・食事や睡眠、健康な体づくり 生 90%

- ・生徒の地域行事への参加 生 85%
- ・教育活動や教育内容の適切な公開 保 95%
- ・「灯中スマートルール」の遵守 生 85%
- ・電話や来校者への丁寧誠実な対応 教 100%

<R-PDCAサイクルの推進> 調査(R)→計画(P)→実行(D)→点検・評価(C)→修正(A)

↓↑

◆教職員組織による協働と業務運営の効率化。

<学校評価を生かした学校改善>

◆教育活動や学校運営状況を評価し、結果に基づき学校運営の改善を図る。

<業務改善・教員の適正な勤務時間に関する取組>

- ◆部長・主任レベルで議案を練り上げ、会議所要時間を短縮。
- ◆校内ネットワークの工夫とデータファイルの管理・整理。
- ◆20時退勤、水曜日18時退勤。部活動時間の厳守。